

ここから未来へ

No.2

輪島市立門前学園

令和8年4月28日

文責 教頭



3つのステージ

門前学園がスタートして、まもなく1か月が過ぎようとしています。小学生と中学生が一つの校舎で学ぶ光景は、一昨年から見られていましたが、義務教育学校として正式に開校してからは、子どもたちの中にあった前期課程と後期課程の「心の垣根」が、少しずつ低くなってきているように感じます。

PTA 総会でもお話ししましたが、児童生徒が自然に交流する姿が、学校のあちらこちらで見られるようになりました。異なる学齢期の子どもたちが共に生活することで、互いに良い刺激を受けながら成長していくことを、たいへんうれしく思っています。

さて、4月27日（月）には、6年生が主催する「1年生を迎える会」が行われました。6年生にエスコートされて入場した1年生を、全校児童生徒みんなで温かく迎えました。「1年生に楽しんでもらおう」という目標のもと、6年生はさまざまな工夫を凝らしました。自己紹介をはじめ、クイズや謎解きなど、1年生はもちろん、全校児童生徒が楽しめる素晴らしい会となりました。前期課程のリーダーとしての6年生の頼もしさを、改めて感じたひとときでした。

門前学園では、9年間の学びを子どもたちの成長段階に応じて、3つのステージに分けています。1年生から4年生までを「Stage 1」、5年生から7年生までを「Stage 2」、そして8年生・9年生を「Stage 3」としています。前期課程のリーダーは6年生、後期課程のリーダーは9年生ですが、それぞれのステージを牽引するリーダーとして、4年生・7年生・9年生を位置付けています。9つの学年の中で埋もれることなく、発達段階に応じたリーダーシップを育むことができるのも、義務教育学校ならではの大きな特色です。

そして今、児童生徒会が知恵を絞りながら準備を進めているのが、MSB（Monzen Sports Battle：運動会）です。これまでの形にとらわれることなく、子どもたち自身が種目や内容を工夫し、新しい運動会を創り上げようとしています。今年は5月15日（金）の平日開催となりますが、子どもたちの活躍する姿を、ぜひご覧いただきたく思います。多くの皆様のご来校を、心よりお待ちしております。

校長 小川由美子

